

加賀家文書歴史講座

「義経伝説とヲ子コイチャシとチフルチャシの物語」のお知らせ！

「加賀家文書」には、多様な文書資料があり、その中には、別海町や根室地方を描いた地図や絵図なども含まれ、当時の様子を知らせてくれます。

「加賀家文書」に描かれた「義経伝説」「ヲ子コイチャシとチフルチャシの物語」は、当時の根室地方の伝説や物語として大変貴重なものとなっています。メナシ地方で躍動する義経、弁慶。二つのチャシの争いの物語の世界を通して「加賀家文書」に対する理解が深まれば幸いです。

ぜひ、ご参加ください。



●日 時 平成25年2月9日（土）午前10時30～12時

●場 所 別海町郷土資料館 附属施設 加賀家文書館

●申込等 2月8日（金）まで。電話・FAX・メールにてお名前と電話番号をお知らせください。定員20名程度

ふるさと講座・自然系第5回目

「冬の渡り鳥観察会」を実施しました。

12月12日（日）にふるさと講座自然系第5回目「冬の渡り鳥観察会」を実施しました。講師は羅臼町立春松中学校教頭の藤井薫氏です。ネイチャーセンターで、この時期見られる渡り鳥を説明いただきました。その後、野付半島先端の最終番屋まで車で移動し、徒歩で先端部を目指しました。

時折、吹雪模様の天候となりましたが、ワタリガラスやコクガン（天然記念物）の大群をまじかで見ることができました。この時期の最大のお目当てで希少種のユキホオジロは残念ながら観察することはできませんでしたが、先端部に着く頃には晴天が広がりそこから見た風景は野付半島特有の素晴らしい景色が広がり、参加者を喜ばせました。帰りはゴミを拾いながら車まで戻りました。

●観察出来た野鳥

オオワシ・オジロワシ・オオハクチョウ・マガモ・クロガモ・ハジロカイツブリ・コクガン（500羽以上）・ワタリガラス



近世の別海を探る 野付～その3～

ノツケ-2

○地勢・建物など

～前期松前藩時代 18 世紀後半の様子

この時代のノツケに関する文献史料は殆んどなく、くわしい様子はわかりません。しかし、後年の寛政 11 年(1799)幕府直轄時代に入り、国後島へ渡る要所としてノツケに通行屋が設けられるようになるように、それ以前からノツケからは国後島へ渡っていたことを示す文献史料が下記の通り見られます。鮭漁などの番屋もこの頃からすでにノツケにあったことがわかります。

- ・「みむろ(根室)よりのしけ(野付)着。是よりらっこ島くなしり(国後)へ渡申候」

『津軽一統志 巻第十(下)』相坂兵右衛門・伊東八右衛門ほか 寛文 9 年(1669)

- ・「ノツケ 西別 シヘツ辺より鮭時来獵小屋多シ番屋もあり…」

『蝦夷日記』木村謙次 寛政 10 年(1798)

- ・「此処大平山崎入海大船ノ潤アリ当処ヨリクナシリ嶋工船路三里方角丑寅ニ当ル尤寅ノ方エ寄ル城下ヨリ此辺迄道程二百六十里余此処ヨリシレト崎且ニ当ル此而ノ入海奥ノ方ニ小島而々ニアリ又小川一ヶ処アリ此川半里程舟ニテ上ル夫ヨリー丁位砂山引越外海エ出ル 処在リ当処ノツケヨリジャリ濱行」

『松前地并東蝦夷地明細記』高橋壮四郎他 寛政 9 年(1797)【18】

根室市ガッカラ浜での巨大津波痕跡の地層断面剥ぎ取り資料作成中！

昨年の 11 月 3 日(土)に実施した「ふるさと講座自然系第 4 回目-2012 地質の日記念行事 in・BETSUKAI」のジオツアーで訪問した根室市ガッカラ浜の巨大津波痕跡の地層断面剥ぎ取り資料の展示準備を現在進めています。過去 5500 年間に 15 層の津波の痕跡が確認されており、今後の災害対策にも役立てることが出来ると思います。(左が地表面)



別海町郷土資料館だより No.162

発行日 平成25年1月7日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

新年あけましておめでとうございます。例年になく気温も低く、寒い毎日が続いております。年末年始にかけて休館で館内もいつにもまして、冷凍状態ではありますが、今年も別海の歴史や自然のホットな情報を郷土の新しい発見の場として発信したいと考えております。(K.I)